

「KL Downtown」

訪問日時：8月 20日

移動手段：地下鉄（ラピッドKLクラナ・ジャヤ線）

訪問場所：KL Downtown

・KL Downtown

「KL Downtown」は日本語訳をすると、「クアラルンプールの下町」である。つまりは、マレーシアの首都である都市の中心部ということである。現在、経済成長著しいマレーシアであるが、その象徴ともいえる建物がKL Downtown にはある。それが「KL Twin Tower」である。この建物自体はオフィスビルとなっていて、「マイクロソフト」などの有名企業も入っている。2つのタワーをつないでいる連絡通路も一般開放されており、事前に申請をしておけば、そこからの眺めを楽しむことができる。また、このビルの下には「Suria KLCC」というショッピング等の複合施設となっており、「Rolex」や「Chanel」などの高級ブランドも数多く入居している。親日国の為か、日本の「伊勢丹」と「紀伊國屋書店」も入居している。



(高さ452mの88階建てのKL Twin Tower)

交通面においては、近くに地下鉄ラピド KL クラナ・ジャヤ線の KLCC 駅があり、周辺も数本地下鉄が通っているため、利便性はかなり高い。しかしながら、付近を走る自動車の交通量が多く、大渋滞を慢性的に起こしているため、自動車でのアクセスはあまり良くない。また、現地でよく目にしたのが、バスやタクシーの多さである。近くにあるバス停では、人がたくさん並んでおり、通行の妨げとなっていた。タクシーの方では、KL Twin Tower がオフィスビルでもあり、近くにも多数のオフィスビルが建っているため、道路を走行している自動車の約 3 割がタクシーであった。乗客を乗せる場所が道路脇でもあるため、一部の車線で車が動かず、走行不可の状態にまで陥った場面もみられた。



(慢性的な渋滞が起きている KL Twin Tower の周辺道路)

また、KL Twin Tower の周辺には緑地公園が形成されている。通路には熱帯気候特有の木々が並び、カーテンのように日差しを遮る役割を果たしている。根だけでも地上約 2 メートルの高さのものまであり、他の植物も特徴的なものが多い。リスなどの日本ではなかなか見ることのできない動物も見ることができる。一方で、大きな噴水や水路も公園内を流れている。噴水では、何十個もの噴出孔から出る水で様々な種類の演出がなされており、近くで休んでいる人々をリラックスさせていた。水路の経路では、メタリックなクジラのモニュメントなど少しユニークなものを楽しむことができ、水路の終点の広場では子供たちが多く集まり、笑顔で水遊びをしている光景がみられた。



(クジラもニュメントがある緑地公園内の水路)

[タグ]

マレーシア、KL Twin Tower、Suria KLCC、オフィスビル、緑地公園